

■単元名

5年 資料を用いた文章の効果を考え、それをいかして書こう 「固有種が教えてくれること」 「グラフや表を用いて書こう」

■単元の特徴（ねらい）とデジタル教科書の活用について

資料を活用した文章を読んだり書いたりする活動を通して、文章と図表などを結び付けて内容を理解したり、書き表し方を工夫したりする資質・能力をつけたい。デジタル教科書では、教科書の地図や表・グラフを拡大提示したり文章表現との関連を確かめたりすることで、児童の理解を深めさせたい。

■指導計画例（全12時間）

学習活動	◇指導事項・指導上の留意点 ◆評価規準（評価方法）	デジタル教科書の活用例（数字は学習活動の番号）
<p>①資料を活用した文章を読んだり書いたりする活動の見通しをもち、学習課題を立てる。</p>	<p>◇資料を用いた文章を読んだり書いたりする活動の見通しをもつこと。</p> <p>◆文章の内容に関心を持つとともに、図表やグラフを活用した文章を読んだり書いたりすることについて課題を持っている。</p>	<p>・&lt;今泉さんからの問いかけ&gt;を見たり「さしえ」で固有種の違いを比べたりし、関心を高める。(①)</p> 
<p>②文章の構成を押さえて論の進め方を確認し、文章の内容の大体を捉える。</p> <p>★③文章と資料を結び付けて読み、資料の効果について考える活動を通して内容を理解する。</p> <p>④文や資料をもとに論の進め方を捉え、要旨をまとめる。</p> <p>⑤筆者の考えなどについて、自分の考えをまとめるとともに、資料を用いた本を読む。</p> <p>⑥統計資料の読み方を理解し、自分が興味をもった資料や文章を読むときや書くときに生かす。</p> <p>⑦資料から読み取れることと、それを用いていることの効果をもとめ、考えを伝え合う。</p>	<p>◇書き手の考えの中心を理解し、文章全体の構成を捉えて要旨を把握すること。</p> <p>・「資料がないとどうなるか」「資料があると何が分かりやすいか」を考える。</p> <p>・「何が分かるか」から分かったことを整理する。</p> <p>・段落内の大切な言葉、要点を抜き出して要旨をまとめる。</p> <p>◆筆者の考えの中心を捉えることで文章の構成を押さえて、論の進め方を確認し要旨をまとめている。</p> <p>・資料から分かることを読み取ったり、複数の資料を比較して考えたりする。</p> <p>・文章に書かれた内容と資料を結び付けて読んだり、その効果を考えたりする。</p> <p>◆文章と資料を結び付けて内容を捉えるとともに、その意図や効果を考えている。</p>	<p>・「ほんぶん」画面で朗読を聞き、「資料の地図がないとどうなるか」について考えながら、内容をつかめるようにする(③)</p>  <p>「ほんぶん」</p> <p>・「マイ黒板」に段落内の大切な言葉を抜き出し、要旨をまとめる。(④)</p> 
<p>⑧これからの社会について自分の考えをもち、資料を探して適切なグラフや表を選ぶ。</p> <p>⑨資料から分かる事実とそこから考えたことを書き出し、文章構成を考える。</p> <p>⑩図表やグラフを用いて、考えが伝わるように書き表し方を工夫し、下書きを書く。</p> <p>⑪下書きを推敲し、文章を完成させる。</p> <p>⑫これまでに学習してきた資料活用の視点にして読み合い、文章のよいところを見つける。新出漢字の確認をする。</p>	<p>◇引用したり、図表やグラフを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。</p> <p>◆資料から分かる事実とそこから考えたことを書き出し、全体の構成を考えて書いている。</p> <p>・資料を探し、自分の考えに合う適切な図表を選ぶ。</p> <p>◇文章全体の構成や展開が明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けること。</p> <p>◆交流活動を通して下書きを推敲し、図表やグラフの使い方や書き表し方を見直している。</p>	<p>・教科書の資料を拡大し、資料の活用について話し合い、工夫して文章を書く。(⑧)</p> <p>▶資料に表れていること。</p> <p>▶資料から分かること。</p> <p>▶資料から考えたこと。</p>  <p>・新出漢字の使い方や筆順等を確認する。(⑫)</p> 



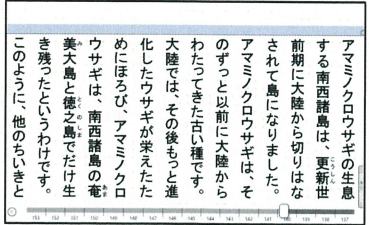
■第3時の指導案

【本時のめあて】

資料の効果について考え、文章と資料を結び付けて内容を捉えることができる。

【評価】

資料提示の意図や効果について考える活動を通して文章と資料を結び付けて読み、日本に固有種が多い理由について正確に捉えている。

学習活動	◇指導上の留意点 ◆評価	デジタル教科書の活用例（数字は学習活動の番号）
<p>①本時の学習課題を確認する。 「資料を読んで分かったこと、資料の効果について気づいたことを伝え合おう」</p>	<p>◇資料の効果について考え、文章と資料を結び付けて内容を捉えることができる。</p>	
<p>②教科書に載っている資料を提示し、「資料がないとどうなるか」「資料があると何が分かりやすいか」について考える。</p> <p>③資料が何もないとどうか。</p> <p>④アマミノクロウサギを示す地図が添えられると何が分かりやすいか。</p> <p>⑤現在の大陸や日本列島の形を示す白線がないと何が分かりにくい。あると何が分かりやすいか。</p> <p>⑥固有種の絵がないと何が分かりにくい。あると何が分かりやすいか。</p> <p>⑦時代の変遷が分かる地図からは何が分かるか。</p> <p>⑧ワークシートに、「資料から読み取ったこと」を整理する。</p>	<p>◇ここでは、資料の効果に焦点を当てながら資料と文章の両方を読んでいく活動を行う。記述内容を押さえるとともに、自分が文章を書くときの資料活用に生かすことをねらいたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文章の言葉だけでは説明しにくい場合があることに気づく。</li> <li>・更新世前期に南西諸島が大陸や本土から離れた状態とアマミノクロウサギが島に取り残された状況をつかむ。</li> <li>・日本列島の形が今と昔は違い、大陸から離れることによって地形だけでなく生物にも変化や影響を与えることを理解する。</li> <li>・文章内に登場する生物が日本列島のどの地域に生息しているのかをつかみ、「なぜ」「いつ」固有種となったか考える。</li> <li>・時代の変遷をもとに読むことによって北海道に固有種が少ないことについて理解し、同様のことがイギリスにも当てはまることに気づく。</li> <li>・他の段落や他の資料に読みを広げ、「中」の部分の記述内容を読み解く。</li> </ul>	<p>・「ほんぶん」で、下の画面のように資料が表示されない部分を提示する。(③)</p>  <p>・「ほんぶん」をスライドさせ、アマミノクロウサギの存在を示す地図を提示する。(④)</p>  <p>・④で使用した画面から更にスライドさせ、固有種の絵が入っている地図を提示する。(⑥)</p>  <p>・最後に、時代の変遷が分かる地図を提示する。(⑦)</p> 
<p>⑨本時の活動で分かった内容や気づいた効果を発表し合い、学習を振り返る。</p>	<p>◆資料提示の意図や効果について考える活動を通して文章と資料を結び付けて読み、日本に固有種が多い理由について正確に捉えている。</p>	<p>・次時の内容を「マイ黒板」の画像等で見せておくと、児童は学習の見通しをもちやすい。</p> 